

営農技術情報

一秋まき小麦 雪腐病防除一

平成30年10月17日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～ 雪腐病防除について ～

近年、積雪期間の長い（140日以上）年が多く（H21～30年の間で8年）、越冬後の雪腐病による被害が多い傾向が見られます。

越冬前には、確実に雪腐病の防除を実施するようにしましょう。

また、褐色雪腐病により被害が大きくなるほ場が見られますので、防除の際は、褐色雪腐病に対して効果のある薬剤（「ランマンフロアブル」）を併用するようにして下さい（表1）。

スプレーヤやビークル等で防除を行う場合は、耐雨性と残効性にすぐれた薬剤（「フロンサイド」等）を使用できるため、根雪直前まで待つことなく早めに防除（早期防除）を行うことが可能です（表2）。なお、防除の際は、効果を高めるため、展着剤を加用して付着性を向上させて下さい。

表1 ヘリ防除での登録薬剤(例)（登録は H30.10.15 現在）

薬剤名	効果※1					希釈倍率	10a 散布水量	回数※2
	褐小	褐色	黒小	紅色	大粒			
モンカットベフラン	●		●	●		4倍	800ml	2回
シルバキュアフロアブル	●		●			16倍	800ml	1回
ランマンフロアブル		●				8倍	800ml	3回

表2 早期防除を実施する場合の薬剤(例)（登録は H30.10.15 現在）

薬剤名	効果※1					希釈倍率	回数※2	効果低減・再散布の目安
	褐小	褐色	黒小	紅色	大粒			
フロンサイドSC	●		●	●	●	1,000倍	2回	散布～根雪始までの積算降水量 150mm
ランマンフロアブル		●				1,000倍	3回	

※1 褐小:褐色小粒菌核病、褐色:褐色雪腐病、黒小:黒色小粒菌核病、紅色:紅色雪腐病、大粒:大粒菌核病

※2 回数は根雪前までの使用回数です

●日没が早まっていますので、暗くなったら早めにライト点灯を行なうようにしましょう。また、ほ場間を移動する際は、回転灯や反射板を装着し、他の車両や歩行者からの視認性を確保しましょう。